

目標達成計画

作成日:平成29年4月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ご利用者様1人1人が外出出来ていない。	身体状況に合わせて、買い物や施設の周りでも良いので、外気浴が出来る様にする。	1つのユニットだけで対応するのではなく、両ユニットでで話合いの機会などを設け、少しでも外気浴が出来る様に対応していく。	2ヶ月
2	2	地域との係わり合いが弱く、イベントに参加する機会や、地域住民との触れ合う機会が少ない。	少しでも多くの交流の機会を設けるようにし、地域の一員として存在出来る様に、積極的に情報を集めたり発信していく。	すぐ近くで包括主催のふれ合いカフェが出来たので、認知症カフェと合わせ、参加出来る機会を作る。(4/4:1人の利用者様と参加する事は出来ました。)	2ヶ月
3	6	身体拘束についての課題があるので、勉強会も含めて、共通の理解を探っていく。	玄関の施設について、防犯の面と身体拘束の面との両方からの考え方を意識していく。	沼津市や各職員、ご利用者様やご家族様といった、様々な立場の意見を伺い、施設としての基本的な考え方、方針をまとめるようにする。	4ヶ月
4	13	職員を育て方に、バラつきが生じてしまう。	職員の研修プログラムの様なものを作り、経験者や未経験者といった、個別のプログラムも構築出来る様にする。	初日の研修から、全ての勤務(早番、日勤、遅番)のタイムスケジュールを文書化し、教え方や、やり方の個人差が少なくなるようにしていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。